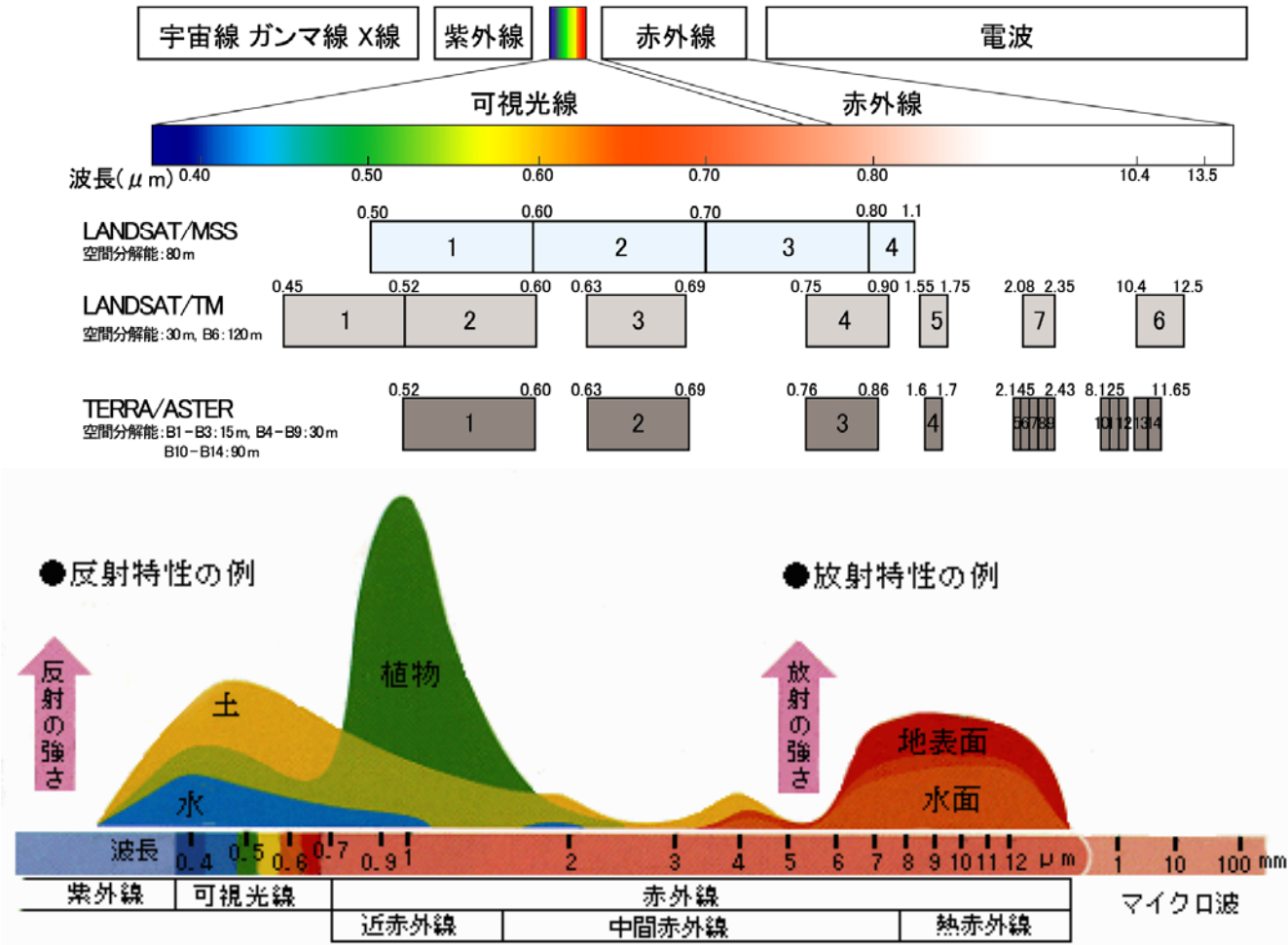
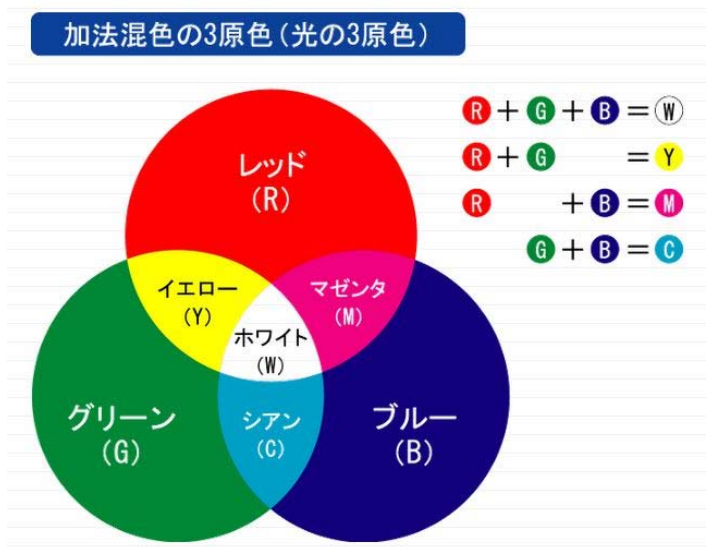


リモートセンシング はじめての判読 資料集

1 センサと反射特性



2 加法混色



3. 多バンド画像の作り方

代表的な多バンド画像の作り方とその特徴

	センサの種類と3原色に割当てるバンド								
センサ名	ASTER			Landsat_TM			Landsat_MSS		
3原色	R	G	B	R	G	B	R	G	B
(*1)トゥルーカラー	-	-	-	3	2	1	-	-	-
(*2)ナチュラルカラー	4	3	2	5	4	2	4	3	2
(*3)フォールスカラー	3	2	1	4	3	2	3	2	1
(*4)シュードカラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*1：青～緑の可視域を観測する Landsat_TM センサでのみ作れる画像。肉眼で見た場合の地上の画像が得られる。Landsat_TM の Band1、2、3 は可視光領域の青、緑、赤の波長帯に相当するので RGB とバンドの関係を一致させてある。



*2：トゥルーカラー画像とはやや見え方が異なるが、植物が緑で表示されるのでトゥルーカラー画像の代わりに使うことができる。わりと人間の認識色に近い画像となるのでナチュラルと呼ばれる。



*3：トゥルーカラーはカラー写真に近い色合いで表現されるが、例えば植生域だけを際立たせたいとき、実際の色とはかけ離れた色合いで表現した画像をフォールス (False: 偽[にせ]) カラーと呼ぶ。植物が赤で表示されるので、植物とそれ以外の要素（地形、地質、都市域）が区別しやすい。植物の分布や活性度を調べるのに有効である。



*4：ひとつのバンドだけで作られる画像（つまりモノクロ）。レインボーカラーを使用して単バンド画像を表示したレベルスライス画像。NDVI の結果や熱（温度）分布を見る際に使用する。

